



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月31日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社三栄コーポレーション  
コード番号 8119 URL <https://www.sanyeicorp.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水越 雅己  
問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 岡崎 克則 TEL 03-3847-3500  
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年12月1日  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	17,048	△6.3	459	—	560	—	510	—
2023年3月期第2四半期	18,203	11.8	△285	—	△238	—	△283	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,191百万円(833.0%) 2023年3月期第2四半期 127百万円(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	212.31	209.26
2023年3月期第2四半期	△119.13	—

(注) 2023年3月期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失のため、記載していません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	19,417	11,301	57.7	4,662.93
2023年3月期	19,652	10,197	51.3	4,217.42

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 11,206百万円 2023年3月期 10,082百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2024年3月期	—	10.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	△9.5	470	97.4	600	131.8	300	—	124.82

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 当社は2023年7月28日開催の取締役会において、自己株式の取得について決議いたしましたが、通期連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、自己株式の取得の影響を考慮していません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	2,552,946株	2023年3月期	2,552,946株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	149,536株	2023年3月期	162,265株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	2,402,549株	2023年3月期2Q	2,383,801株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### [内外環境]

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付け引き下げ後、経済活動は一段と正常化に向かいました。個人消費やインバウンド需要は回復基調を維持しており、雇用・所得環境にも改善が見られ始めています。しかしながら、長期化するウクライナ情勢、原材料・資源価格の上昇、円安地合いの継続・進行や、これらに端を発した物価上昇など、わが国を取巻く内外環境には、様々なリスク要因が残っており、依然として先行き不透明な状況が継続しています。

#### [主要施策]

当社グループは、コロナ禍により顕在化した高コスト体質を改善するため、コスト構造の抜本的な見直しに鋭意取り組んで参りましたが、コロナ禍はまた、当社が長年のテーマとしてきた「健康と環境」という価値観の普遍性と、過去からの優位性である「モノづくり」の重要性を再確認できた機会となりました。

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けの引き下げ後、経済活動は正常化に向かいつつありますが、当社グループにおいては、取り巻く環境変化が継続するとの認識の下、変化に対応し、新たな成長フェーズを確固たるものにするためのスタートとして策定した3カ年の中期経営戦略『SANYEI 2025』の目標達成に向けて、事業改革の強化、見直しの徹底に引き続き取り組んでいます。

中期経営戦略『SANYEI 2025』では、重点施策として、「グループ事業構造、事業ポートフォリオの見直し」「スピード感のある新規取組みの促進」「ワークライフバランス」「ガバナンスの強化」を掲げ、最終年度の2025年度までに売上高500億円、経常利益20億円（経常利益率4%）の達成を数値目標として掲げています。なお、新たな成長戦略を確固たるものにするための成長ドライバーとしては、特に次の3つを挙げています。

- ① 海外取引の拡大
- ② EC事業の強化
- ③ 「健康と環境」に則ったサステナブルビジネスの追求

#### [連結業績]

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比6.3%減少の170億4千8百万円となりました。外食・旅行などサービス消費の増加に加えてインバウンド需要の回復を背景に、外出・トラベル関連商材の需要が増え、服飾雑貨事業セグメントの売り上げが前年同期比伸長しました。一方、巣ごもり需要の顕著な縮小や、欧州景気低迷を主因とした海外拠点での減収を背景に、家具家庭用品事業セグメントの売り上げが前年同期比大きく減少しました。

利益面につきましては、売上高は減少したものの、収益力の改善に注力した結果、売上総利益率が改善したことで、売上総利益は前年同期比3億8千万円増加の46億5千4百万円となりました。営業利益につきましては、店舗経費の減少やグループ基幹システムに係る減価償却費の減少など、販管費が前年同期比3億6千4百万円減少したことから、前年同期比7億4千4百万円改善し、4億5千9百万円の黒字となりました。経常利益は、営業損益の黒字化や為替差益の計上を主因として、前年同期比7億9千8百万円改善の5億6千万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比7億9千4百万円増加の5億1千万円となりました。

[セグメント別業績]

(家具家庭用品事業)

当報告セグメントの売上高は、前年同期比27.5%減少の78億4千4百万円となりました。コロナ禍から経済活動が正常化へ移行する中、巣ごもり消費が大幅に落ち込んだことや、欧州の景気低迷の影響もあり、国内外のOEM事業を中心に売上げが大きく減少しました。ブランド事業においても、ドイツのテーブルウェアブランド「Villeroy & Boch (ビレロイアンドボッホ)」等を取扱う(株)エッセンコーポレーションや「MINT (ミント)」などの家具・インテリアのネットショップの売上げが、前年同期比減少しました。

セグメント利益については、売上総利益率の改善や販管費も減少したものの、売上高の減少を主因として、前年同期比1億8千8百万円減少の2億円となりました。

(服飾雑貨事業)

当報告セグメントの売上高は、前年同期比41.0%増加の64億9千6百万円となりました。外出・トラベル関連の旺盛な需要増を受け、関連商材の売上げが前年同期比大幅に回復しており、特にOEM事業において売上高を押し上げました。ブランド事業においても、ベルギーのプレミアム・カジュアルバッグブランド「Kipling (キプリング)」を販売する(株)L&Sコーポレーションの売上げが増加しましたが、ドイツのコンフォートシューズブランド「BIRKENSTOCK (ビルケンシュトック)」等を販売する(株)ベネクシーは、事業再編の途上にあり、前年同期比減少となりました。

セグメント利益については、売上高の増加に加え、ブランド子会社での採算性向上を主因に、前年同期比6億7千5百万円増加の5億7千6百万円となりました。

(家電事業)

当報告セグメントの売上高は、前年同期比5.3%減少の18億3千6百万円となりました。OEM事業では、季節商品の受注増などにより前年同期比増加となりました。ブランド事業においては、理美容家電の売上げは堅調に推移したものの、調理家電においては、巣ごもり需要縮小の影響や海外向け販売が前年同期比伸び悩んだことなどから、全体として前年同期比減少となりました。なお、理美容家電・調理家電のブランド販売子会社(株)ゼリックコーポレーションは2023年4月1日付で当社に吸収合併(簡易合併・略式合併)しております。

セグメント利益については、売上高は減少したものの、売上総利益率の改善や販管費の削減により、前年同期比1億8千6百万円改善し、3千4百万円の損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億3千4百万円減少の194億1千7百万円となりました。

主な資産の変動は、「商品及び製品」「現金及び預金」がそれぞれ4億5千4百万円、3億8千6百万円減少した一方、「投資有価証券」が5億6百万円増加しております。

主な負債の変動は、「短期借入金」「支払手形及び買掛金」「未払法人税等」がそれぞれ7億3千3百万円、1億4千2百万円、9千8百万円減少しております。

主な純資産の変動は、「利益剰余金」「その他有価証券評価差額金」「為替換算調整勘定」がそれぞれ4億2千7百万円、3億4千4百万円、2億5百万円増加しております。

この結果、自己資本比率は57.7%、1株当たり純資産は4,662円93銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、2023年5月12日付「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました2024年3月期の通期業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日付で別途公表しております「2024年3月期第2四半期業績予想と実績の差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,481,380	4,094,793
受取手形	36,519	32,883
売掛金	4,318,432	4,482,937
契約資産	3,788	1,169
商品及び製品	5,568,378	5,113,778
仕掛品	33,371	33,036
原材料及び貯蔵品	165,684	203,436
前渡金	84,323	52,283
前払費用	156,664	128,739
その他	159,192	404,534
貸倒引当金	△6,554	△3,979
流動資産合計	15,001,180	14,543,613
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	961,571	869,583
機械装置及び運搬具（純額）	80,746	114,267
工具、器具及び備品（純額）	102,317	91,157
土地	561,367	561,367
リース資産（純額）	7,160	3,512
建設仮勘定	10,742	12,170
その他	52,426	36,417
有形固定資産合計	1,776,332	1,688,475
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	1,850,314	2,357,148
長期貸付金	9,440	62
繰延税金資産	63,518	15,290
その他	632,340	533,317
貸倒引当金	△42,973	△35,981
投資その他の資産合計	2,512,640	2,869,838
固定資産合計	4,651,144	4,874,010
資産合計	19,652,324	19,417,624

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,817,025	1,674,323
短期借入金	1,742,069	1,008,950
リース債務	39,200	19,261
未払金	768,721	670,465
未払費用	326,727	275,414
未払法人税等	136,628	38,586
契約負債	75,458	60,705
未払消費税等	150,991	71,741
賞与引当金	260,983	219,152
役員賞与引当金	8,327	5,900
その他	214,530	106,432
流動負債合計	5,540,662	4,150,933
固定負債		
社債	1,950,000	1,950,000
長期借入金	1,200,000	1,200,000
リース債務	17,512	18,284
繰延税金負債	183,003	245,385
再評価に係る繰延税金負債	48,964	48,964
役員退職慰労引当金	61,570	31,423
退職給付に係る負債	261,394	274,435
資産除去債務	176,173	155,786
その他	15,407	41,408
固定負債合計	3,914,026	3,965,688
負債合計	9,454,689	8,116,622
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,000,914	1,000,914
資本剰余金	692,170	687,929
利益剰余金	7,541,376	7,969,015
自己株式	△322,082	△299,262
株主資本合計	8,912,378	9,358,596
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	726,039	1,070,920
繰延ヘッジ損益	△67,160	60,213
土地再評価差額金	110,945	110,945
為替換算調整勘定	400,300	606,250
その他の包括利益累計額合計	1,170,125	1,848,330
新株予約権	72,301	47,745
非支配株主持分	42,829	46,330
純資産合計	10,197,635	11,301,002
負債純資産合計	19,652,324	19,417,624

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	18,203,430	17,048,603
売上原価	13,929,298	12,394,421
売上総利益	4,274,132	4,654,181
販売費及び一般管理費		
販売費	980,185	955,683
一般管理費	3,579,821	3,239,373
販売費及び一般管理費合計	4,560,006	4,195,056
営業利益又は営業損失(△)	△285,874	459,124
営業外収益		
受取利息	9,140	19,624
受取配当金	24,195	25,388
為替差益	10,110	57,740
助成金収入	16,396	6,359
その他	8,242	7,545
営業外収益合計	68,086	116,658
営業外費用		
支払利息	17,587	14,406
その他	3,030	1,210
営業外費用合計	20,618	15,617
経常利益又は経常損失(△)	△238,406	560,165
特別利益		
固定資産売却益	1,263	6,429
投資有価証券売却益	33,003	—
特別利益合計	34,266	6,429
特別損失		
固定資産除却損	1,689	4,172
減損損失	—	40,429
賃貸借契約解約損	—	16,416
特別損失合計	1,689	61,018
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△205,830	505,577
法人税、住民税及び事業税	95,155	97,704
法人税等調整額	△20,474	△105,714
法人税等合計	74,680	△8,009
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△280,510	513,586
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,479	3,501
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△283,989	510,085



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△280,510	513,586
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△133,996	344,881
繰延ヘッジ損益	80,256	127,373
為替換算調整勘定	461,987	205,950
その他の包括利益合計	408,247	678,204
四半期包括利益	127,736	1,191,791
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	124,257	1,188,290
非支配株主に係る四半期包括利益	3,479	3,501

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△205,830	505,577
減価償却費	240,264	175,561
減損損失	—	40,429
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,359	△10,119
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,694	△52,597
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△6,267	△1,600
受取利息及び受取配当金	△33,336	△45,013
支払利息	17,587	14,406
固定資産除却損	1,689	4,172
固定資産売却損益(△は益)	△1,263	△6,429
投資有価証券売却損益(△は益)	△33,003	—
売上債権の増減額(△は増加)	98,576	△214,593
棚卸資産の増減額(△は増加)	△298,936	481,104
仕入債務の増減額(△は減少)	△93,915	△163,100
未払消費税等の増減額(△は減少)	△126,306	△74,571
その他	△123,592	△146,711
小計	△563,669	506,514
利息及び配当金の受取額	33,336	45,013
利息の支払額	△17,630	△14,332
法人税等の支払額	△83,523	△197,279
営業活動によるキャッシュ・フロー	△631,486	339,914
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△92,401	△131,690
有形固定資産の売却による収入	1,415	64,222
無形固定資産の取得による支出	△10,021	△6,557
投資有価証券の取得による支出	△9,528	△9,743
投資有価証券の売却による収入	42,750	—
貸付金の回収による収入	478	9,378
その他	29,027	95,584
投資活動によるキャッシュ・フロー	△38,280	21,192
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,176,029	△733,801
長期借入金の返済による支出	△50,000	—
自己株式の取得による支出	△14	△23,827
自己株式の売却による収入	0	11
自己株式取得のための預託金の増減額	—	△177,674
配当金の支払額	△23,773	△23,906
その他	△874	△19,137
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,250,692	△978,336
現金及び現金同等物に係る換算差額	292,813	163,625
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,627,646	△453,603
現金及び現金同等物の期首残高	4,599,863	4,444,980
連結子会社の合併による現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	103,417
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,972,217	4,094,793

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	家具家庭用品 事業	服飾雑貨 事業	家電事業	計				
売上高								
日本	7,792,471	4,052,720	1,398,082	13,243,274	684,104	13,927,378	—	13,927,378
中国	2,295,012	200,861	151,133	2,647,007	130,071	2,777,079	—	2,777,079
欧州	266,218	83,911	10,466	360,596	7,636	368,232	—	368,232
その他	469,731	269,946	379,685	1,119,363	—	1,119,363	—	1,119,363
顧客との契約から生 じる収益	10,823,433	4,607,440	1,939,368	17,370,241	821,812	18,192,054	—	18,192,054
その他の収益	—	—	—	—	11,376	11,376	—	11,376
外部顧客への売上高	10,823,433	4,607,440	1,939,368	17,370,241	833,189	18,203,430	—	18,203,430
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	22,058	22,058	△22,058	—
計	10,823,433	4,607,440	1,939,368	17,370,241	855,247	18,225,488	△22,058	18,203,430
セグメント利益又 は損失(△)	389,140	△98,569	△221,656	68,914	58,538	127,453	△413,328	△285,874

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業で商量の少ない商品を取り扱っているセグメントおよび当社グループ向けサービス業等であり、取扱商品としてはペット関連、輸送資材等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△413,328千円は全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない当社における管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4 売上高は顧客の仕向地を基礎とし、国または地域に分類しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	家具家庭用品 事業	服飾雑貨 事業	家電事業	計				
売上高								
日本	5,678,858	5,216,189	1,322,804	12,217,851	768,927	12,986,779	—	12,986,779
中国	1,656,802	320,301	260,562	2,237,667	81,797	2,319,464	—	2,319,464
欧州	157,231	114,518	9,407	281,156	8,992	290,149	—	290,149
その他	352,074	845,037	243,586	1,440,698	135	1,440,834	—	1,440,834
顧客との契約から生 じる収益	7,844,967	6,496,046	1,836,360	16,177,374	859,852	17,037,226	—	17,037,226
その他の収益	—	—	—	—	11,376	11,376	—	11,376
外部顧客への売上高	7,844,967	6,496,046	1,836,360	16,177,374	871,229	17,048,603	—	17,048,603
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	2,337	2,337	21,910	24,248	△24,248	—
計	7,844,967	6,496,046	1,838,698	16,179,712	893,140	17,072,852	△24,248	17,048,603
セグメント利益又 は損失(△)	200,339	576,943	△34,689	742,593	75,032	817,626	△358,501	459,124

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業で商量の少ない商品を取り扱っているセグメントおよび当社グループ向けサービス業等であり、取扱商品としてはペット関連、輸送資材等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△358,501千円は全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない当社における管理部門に係る費用であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 4 売上高は顧客の仕向地を基礎とし、国または地域に分類しております。